

業の不振で〇・五バーセント前後に落ちる予想だという。

◆フランス語のみの教育は違憲 最高裁、ケベック言語法で判決

カナダ最高裁判所は、このほど、フランス語を州の公用語と定めたケベック州言語憲章の一部について、憲法違反の判定を下した。

言語憲章では、少なくとも母親の一人がケベック州で英語教育を受けている場合を除いて、州内のすべての子供はフランス語のみの教育を受ける、と定めているが、最高裁判所は「一九八二年憲法」の「権利と自由の章典」第二十三条により、カナダのすべての子供は英語またはフランス語で教育を受けた親と同じ言語で教育を受ける権利を保障されているとして、州法の条文を違憲としたもの。

◆北極の石油と天然ガス 生産・輸送に見通し



カナダ北極のボーフォート海には、採掘可能な原油が十三億立方メートル、天然ガスが一兆八千六百万立方メートルも埋蔵されていると推測されている。そのうち確認されているのは、採掘可能な原油が一億二千万立方メートル、天然ガス

が二千九百万立方メートルであるが、その原油が早ければ一九八八年にも、現在建設中のパイプラインで南の市場へ送られる可能性が出てきた。

これは、このほど連邦政府の審議会がまとめた環境調査報告書で明らかにされたもので、同報告書は環境上および社会・経済的にみて小規模の石油生産および輸送に問題がないこと、強力な砕氷タンカーの開発が望まれることを指摘している。

国有のベトロ・カナダを中心とするコンソーシアム、パンアークティック石油会社では六百万ドルをかけて、北極の油井から十万バレルの原油を南に輸送する実験を行なう計画を進めているという。

◆アジア財団設立へ 連邦議会が立法化

カナダ連邦議会は六月末、カナダとアジア、特に日本、中国、韓国など環太平洋諸国との関係増進を目的にしたアジア・太平洋財団を設立する法案を採択した。

同財団は、連邦政府、各州政府、経済界が共同出資して運営することになっており、理事長と理事九人は連邦政府が、残り二十人の理事は最初の十人の理事が任命する。財団は、①アジア・太平洋地域とカナダの文化、歴史、宗教、考え方、生活様態などについての相互理解を図る②同地域とカナダのさまざまな組織や機関の間の開発

協力を支援する③同地域とカナダの民間および公部門の組織や機関の間の協力を推進する④同地域とカナダの間の経済・通商関係を増進する⑤カナダとアジア・太平洋でそれぞれ地域の経済、文化、社会などに関する学術研究を推進する⑥カナダとアジア・太平洋地域に関する情報を収集し、双方で配布する——ことになっている。

なお、連邦政府が最初の五年間に五百万ドル拠出することになっているほか、ブリティッシュ・コロンビア州が二十万ドル提供している。

◆ローマ法王がカナダ訪問



ローマ法王ヨハネ・パウロ二世が、九月九日から十二日間、カナダを訪問した。

ローマ法王の訪加はこれが初めて。写真は、法王の訪問を記念して発売されたメダル。

◆「テリー・フォックス物語」 十月上旬から日本で上映

義足でカナダ大陸を走破しようとしたテリー・フォックスの「希望のマラソン」をテーマにした映画が、今秋日本で公開された。

「テリー・フォックス物語」でテリーを演ずるのは、自らも片足の切断手術を受けた無名の青年エリック・フライアー。カナダのロバート・クーバー・プロの作品で、

一九八四年度カナダ・アカデミー賞の最優秀作品賞、最優秀主演男優賞、最優秀助演女優賞（ジャッキー・バロウ）など四部門を独占している。

◆車椅子利用者用のミニバス 乗り降りに便利で広い車内

身体の不自由な人が無理なく乗れるミニバスが、カナダで開発された。オリオンIIと呼ばれるこのバスは、オンタリオ・バス工業社（オンタリオ州ミシソガ）が考案したもので、従来の改造したバンやバスよりはるかに便利になっている。



車椅子が歩道から簡単にバスに乗り込める。

第一は、骨組を橋のような構造にして、支柱を床下から天井に移動したため、シャフトなどの場所をとる必要がなくなり、床をかなり低くできたこと。客を乗り降りさせるときは、車体下ががり、サイドドアは歩道の縁から五センチ以内、後部ドアは路面から十センチ手ほどになる。乗降口は、路面とほとんど同じ位置にくる。

また前輪駆動式なので、床下の駆動軸や後部車軸が不要となり、それだけ車内が広く取れる。中型車（長さ七・五メートル）だと、二

十六の座席、二十の補助席、または他の乗客を移動させなくても自由に乗り降りできる車椅子が七つ入る、という。

大使館人事

今年、カナダ大使館の陣容が次のように変わった。（かつこ内は前任者）。

- 政治担当参事官 マイケル・テンブル（ゴードン・ロングミュア）
 - 経済担当参事官 テリー・コリンズ・ウイリアムズ（アン・バーク）
 - 商務担当筆頭参事官 ロバート・マーナー（ロバート・フェアウエザ）
 - 農務担当参事官 ゴードン・バートン（アブ・バリー）
 - 観光担当参事官 ジョン・バーチエル（ドン・マルサン）
 - 石油・石油化学担当二等書記官 スティブン・ブリアトン（ロバート・プロックルバンク）
 - 海洋機器・輸送機器担当一等書記官 ロバート・メイン（アーニー・ラジネット）
 - 関税局 アーサー・アトウッド（ジョン・バロース）
 - 政治分析・学術交流担当 竹本徹（渡辺高雄）
 - 一般消費財担当 大山博保（大橋康一郎）
- 案内●
日本経済新聞社とグループ・アード・メール社の主催による日加経済シンポジウムが、十一月六日、ホテルオークラで開催される。